平成30年潮来の夏まつり

硯宮神社祭礼

十番渡御（潮来祇園祭禮）

大洲大六天神祭礼

潮来祇園祭禮

横須賀諏訪神社祭礼

日の出神幸祭

水郷潮来花火大会

延方相撲

潮音寺万燈会

芝宿素鷺神社祭礼

堀之内八坂神社祭礼

水原八坂神社祭礼

過ぎ行く夏に寄せて

渡辺教子

18歳まで潮来で暮らした私。潮来で過ごした幼い頃の夏休みは今も心の中の宝物です。生まれ育った築地は眩しい夏の陽光、見渡す限り稲穂の水田が美しい小さな集落。蚊帳を吊るした部屋で蝉の声で目覚め、妙光寺の境内で朝一番のラジオ体操で一日が始まります。暑い日差しの下、麦わら帽子をかぶってカブトムシやクワガタ、田圃の用水路でハヤやタナゴ、メダカや沢蟹もよく採りにいったものです。茹でたばかりのおいしいとうもろこし、井戸水で冷えた甘いスイカは母にせがんで食べた夏のごちそうです。夏休みは家族でよく下津海岸へ海水浴。子供会では天王崎へ、赤いかき氷が楽しみでした。母手作りのサッカー生地のサックスブルーのワンピースは私の夏のお気に入りでモノクロの記念写真のように今でも鮮明に思い出せます。

私の幼少時は昭和30年代。まだ戦後から10数年しか経っていませんでしたが、潮来は人情が豊かで、近所で助け合いながら時代を暮らす、温かい営みがありました。家の欄干に飾られた写真、母方の牛堀の実家には、丸眼鏡の軍服を着た祖父の写真。築地の自宅には南方へ行って生還した人柄の優しい祖父の写真。そういうものに囲まれ、「起きたら何をして遊ぼうか」とワクワクした夏休み、それが私の忘れられない子供の頃の思い出です。

（水郷潮来大使／ブランドプロデューサー）